

# 若越の林業



ふくい林業カレッジでの研修状況（令和元年度）

「ふくい林業カレッジ」では新規就業希望者に対し、林業に関する基礎知識や技術習得の研修を行っています。

令和2年度からはこれまでの1年間の研修コースに加え、3カ月間の短期コースを新たに設置し、担い手の育成を図っています。

（県産材活用課）

2020 **5** No. 725

# 「ふくいの森林・林業基本計画」の策定

「ふくいの森林・林業基本計画」は、本県の森林・林業・木材産業の指針となる計画です。

県では、平成27年3月に策定した本計画に基づき各種施策を進めてきたところですが、計画策定後5年が経過し森林・林業・木材産業を取り巻く情勢が変化したことから、昨年度「ふくいの森林・林業あり方検討会」を3回にわたり開催するなど、計画の見直しを行いました。

このたび、あり方検討会での検討結果に加え、関係団体や県民の皆様からのご意見等を踏まえ、新たな「ふくいの森林・林業基本計画」を策定しましたのでお知らせします。

下記のアドレスの県産材活用課ホームページからダウンロードできます。

(<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kensanzai/shinrinringyoukihonkeikaku-r2.html>)

**基本理念** 育てる林業から、儲ける林業・稼げる林業に

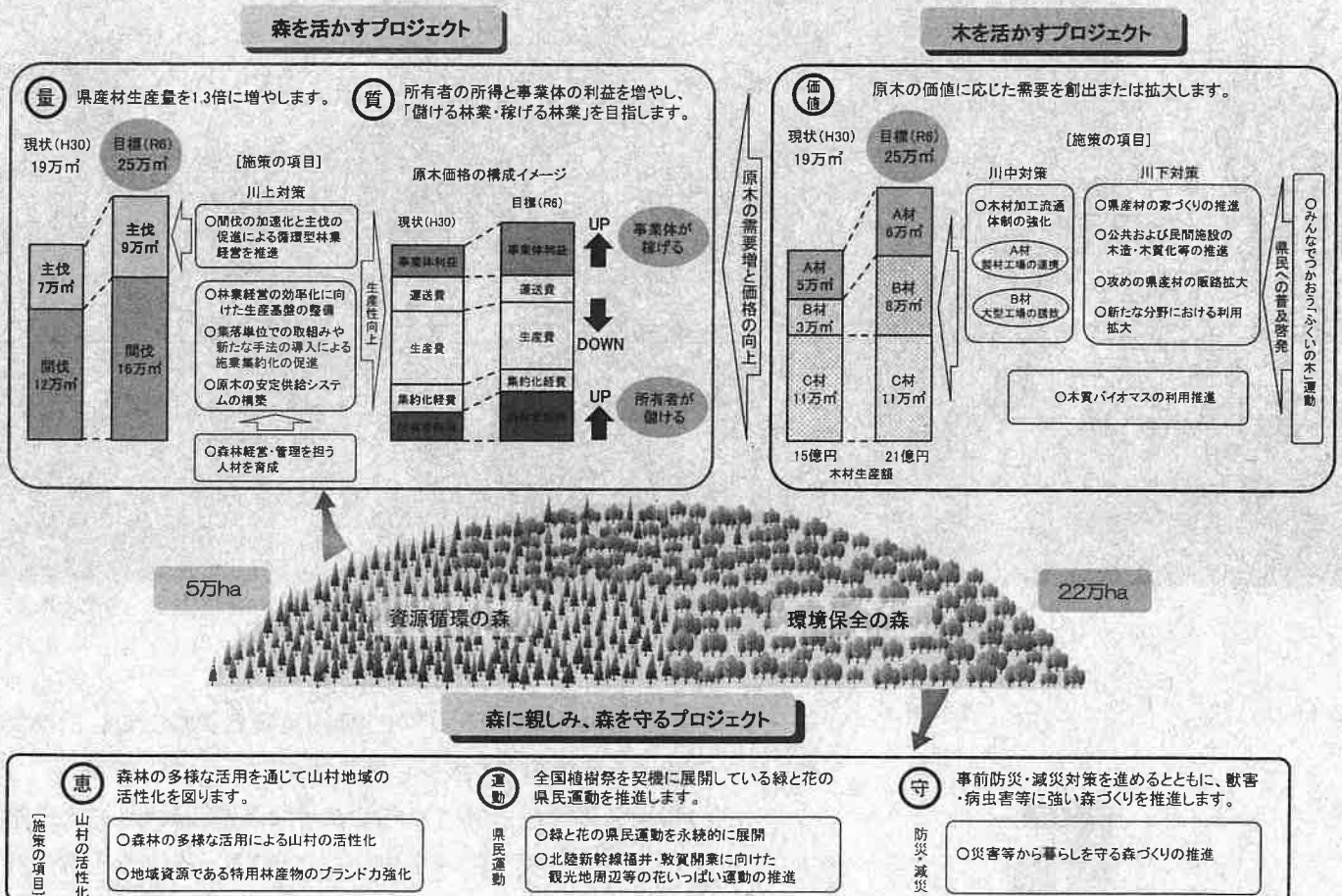
**数値目標** 県産材生産量 19万㎡ (H30) → 25万㎡ (R6) 林業生産額 23億円 (H30) → 30億円 (R6)

**計画期間** 令和2年度～6年度（5年間）

## 目指すべき森林の姿

県内の民有林について、木材の持続的な生産を主目的とした「資源循環の森」と森林の多面的機能の発揮を主目的とした「環境保全の森」の2つにゾーニングし、それぞれに応じた森林整備を推進

## <計画の全体像>



(県産材活用課林業戦略グループ)

# 「あわら市・坂井市森林整備構想」の策定

今回は、坂井管内のあわら市、坂井市が共同して策定した森林整備構想について、ご紹介します。

坂井管内には、人工林が約7、200haあり、そのうち利用期を迎えた(標準伐期令以上の)人工林が約8割を占めています。この豊かな森林資源を活用して、林業・木材産業をより活性化するため、将来を見据えた林業の振興計画を策定する必要がありますがありました。

## 管内だより



▲ 策定委員会の様子



▲ 委員による現地視察

そこで、林道といった生産基盤などが共通している両市は互いに協力し、先進地の事例を参考に、森林整備構想を策定しました。策定委員会を設立するため、地域内の川上から川下まで各分野の代表者、福井森林管理署長、坂井農林総合事務所林業部長、両市の担当部長を委員として取りまとめ役として県立大学の石丸准教授を委員長とし、計14名へ両市から委嘱しました。

策定委員会は、令和元年10月8日から令和2年3月4日まで5回開催され、各委員から活発な意見が出されました。委員長は、各委員の意見を整理し、事務局と連携して森林整備構想の内容を取りまとめました。こうして、「あわら市・坂井市森林整備構想」がまとまり、委員長、副委員長から令和2年3月23日、両市の市長へ構想書を手渡しました。

構想の内容は、まず基本理念として、「みんなが参加する森づくり」、「持続可能な木材利用を進める森づくり」、「多面的な機能を発揮する森づくり」を掲げました。

具体的な施策として、木材の流通活性化に向けた協議会の設立、主伐・再造林の実証事業など26項目の取組みを振興策とし、今後10年間で取り組む実施スケジュールを作成しました。実施スケジュールでは、森林組合、森林所有者、木材等加工業、行政等の役割を決め、財源として既存補助事業、森林環境譲与税の使い分けを示しました。

また、森林整備について、各地域で

の指針を示すため、地面の傾斜、林道までの距離、作業道の有無により、「経済林」と「多面的機能林」に区域分けしました。今後は、経済林を中心に、10年後には主伐・再造林を年間40ha実施することを目標に掲げました。

当事務所では、森林整備構想が着実に推進されるよう、両市、各関係者へのアドバイス、各種事業の実施など、サポートしていきたいと考えています。

※森林整備構想の詳しい内容については、左記のリンク先をご覧ください。

http://www.city.awara.lg.jp/  
mokuteki/industry/industry03/  
industry0302/p010092.html

(坂井農林総合事務所

林業部 林業・木材活用課)

# 名田庄総合木炭生産組合が「FBCかがやき基金」大賞に選ばれました

福井放送株式会社が毎年実施している「FBC かがやき基金」で林業関係の団体が選ばれましたのでご紹介します。

「FBC かがやき基金」は福井県の将来のために各分野で活動し、目覚ましい活躍や実績をあげた団体や個人の更なる発展を期待して応援することを目的に、2012年に設立されました。

2019年のテーマは「伝」。技術や文化を次世代へ伝えていく活動に取り組む団体など、県内から73団体の応募がありました。このうち日本で唯一研磨炭を生産している「名田庄総合木炭生産組合」が大賞に選ばれ、福井放送株式会社から表彰状と副賞として応援金が贈呈されました。

研磨炭は、漆器や金属製品などを磨くために使用され、日本の伝統工芸品を生産するうえではなくてはならない存在です。平成27年にはその製炭技術が日本林業遺産に認定されました。また組合長である木戸口氏は、平成29年度に「現代の名工」としても表彰されています。今後も名田庄総合木炭生産組合の活躍から目が離せません。



表彰状を受けとった木戸口氏



研磨炭



窯出し作業を行う木戸口氏



窯への火入れ研修の様子



原料となるアブラギリ

## 研磨炭をはじめとした製炭業の伝承について

(名田庄総合木炭生産組合 組合長 木戸口 武夫 氏)

福井県内の製炭者は減少の一途をたどっており、若い世代では『炭焼き』が何かもわからなくなっています。50年前、どこの里山林でも行われていた炭焼き産業は衰退し、里山には人も入らず荒廃する一方です。私はこれらの現状を多くの人たちに知っていただくために、小中・高校生を中心に一般の方の炭焼き体験を受け入れて伝承活動を行っています。

また、研磨炭生産の後継者育成にも力を入れています。しかし、研磨炭の生産工程において、原料となるアブラギリの原木は伐採後2年以上の乾燥が必要で、後継者が技術を習得しても2年間は収益を得ることが出来ませんし、原木の伐採と搬出も危険が伴い大変な労力と時間が必要です。さらに、研磨炭の需要は年々減っており、経費も増加傾向にあります。生活安定のため価格に転嫁しても、安価な代替品へと代わるだけで何の解決にもなりません。伝統文化を守り伝える為には、より良い製品を適正な価格で供給する必要があります。研磨炭をはじめとした伝統文化と産業を支える絶滅危惧道具の状況も多くの方に知っていただき、解決策を探していきたいです。

(森づくり課 森林活用グループ)

## 緑推だより



### 「緑の募金」事業の紹介をします

皆様からお寄せいただいた募金は、下記の事業に活用させていただいております。公益社団法人福井県緑化推進委員会

事業区分	対象経費	事業名	事業内容
森林の整備	森林の整備及びこれに付帯する事業などに要する経費であって苗木、樹木、作業用器具、保護具、資材などの購入、保険料、交通費、借損料、運搬費、消耗品、事務費、謝金、委託費等とする。	学校林活動整備事業	児童・生徒が学校林の整備を体験する中で、自然環境との調和、資源の循環利用等に関心を持ち、緑豊かな環境づくりに理解を深めさせるもの。
		グリーンボランティア活動支援事業	市町緑化推進委員会及び、森林ボランティア団体等が、広く都市住民等の参画を呼びかけ、森林整備の体験を通じて、森林、林業の理解を深めるもの。
緑化の推進	緑化思想の普及啓発、地域、公共施設の環境緑化、植樹祭等の行事、緑の少年団等の育成に要する経費であって、上記に準ずる。	地域緑化推進事業	集落、各種団体、グループ等地域住民の自主的な参画による植樹活動等で、市町緑化推進委員会の事業計画に基づき、広く地域緑化の整備推進を行い募金活動の活性化に資するもの。
		環境緑化事業	学校、公民館、福祉施設、地域の公園、広場等の樹木植栽、環境緑化を行い、緑化意識の高揚啓発に努めるもの。
		県民緑化活動推進事業（緑化木配布）	市町緑化推進委員会が、緑化強化期間中心にして実施する無償苗木の配布、講習会、講演会等、各種緑化行事を行い緑化運動の普及啓発を図るもの。
		緑の少年団活動支援事業	緑の少年団の新規結成及び既団の活動育成、ならびに県連盟への活動支援を行い緑化思想の普及を育むもの。

頑張る

# 自伐林家・林業事業体



## 株式会社 大義林研 (福井市)

今回は女性1名を含む5名で福井地区を中心に間伐や森林作業道の森林整備事業を実施している「株式会社 大義林研」をご紹介します。丁寧な森林整備の施工に日々努められていますが、とりわけその根幹となる道づくりには強いこだわりがあるのがこの会社の特徴です。丈夫な道づくりを心掛け、現場で丁寧に実践していくことが、間伐作業を効率的に進めること、また将来の主伐のための大きな財産になると考えています。

社長の大泉雅人さんは「大義バケット」生みの親でもあります。現場では木材の伐倒、造材、搬出など、多くの場面で複数の林業機械を使用するため、林業機械を入れ替えるための時間や新たな搬入場所が必要となります。そこで作業時間の短縮や安全性を高めるために、現場で最も普及しているグラブに取り付けたアタッチメント「大義バケット」を開発しました。「大義バケット」は、ベースマシンの入れ替えをせずとも自由自在に掘削や転圧、盛土整形の作業ができるため、福井地区管内でも多くの現場で活躍しています。

林業の仕事は3K（危険・汚い・きつい）といわれることもありますが、作業後に山が見違えるほど明るく美しくなることへの達成感や、大径木を伐採したときの解放感にみなさんが今の職にやりがいを感じていらっしゃいます。

(福井農林総合事務所 林業部 林業・木材活用課)



▲女性も現場で大活躍中です。



▲グラブで掴んだ「大義バケット」で掘削、伐根処理ができます。

## 県域普及員だより

### 「あなたも「葉っぱ」をつかったビジネスに取り組みませんか？」を作成しました。

県内の大部分を占める人工林は、林業の採算性の悪化により山への関心が低下し、管理が行き届かなくなることで、鳥獣被害や土砂災害の危険が高まっています。

このため県では、「育てる林業から、儲ける林業・稼げる林業に」を基本理念とした、新しい「ふくい森林・林業基本計画」を策定し、「森林を利活用する様々な取組み」を行っていきます。

私たち県域普及員も、取組みを進めるための一つとして、身近な里山にある資源を活用したビジネス創出のきっかけとしてもらうため、パンフレット『あなたも「葉っぱ」をつかったビジネスに取り組みませんか？』を作成しました。皆様の身近な里山で今まで見過ごしてきた「価値」を探し、里山ビジネスを始めるきっかけ作りにご活用ください。

パンフレットは、総合グリーンセンターのホームページからダウンロードできます。また、各農林総合事務所林業部および嶺南振興局林業担当部局でも配布しています。(総合グリーンセンター 緑化・花づくり推進部 技術指導グループ)





# 山地災害に

## 備えましよう

近年、局地的な豪雨が降る傾向が高く、各地で山地災害が発生しています。山地災害に備えるためには、地域住民の方の防災意識の高揚が重要です。このため、福井県では、山林保全監視モニター制度と、治山現場見学会を実施しています。

山林保全監視モニター制度は、中山間地に居住する住民の代表者にモニターになっていただき、山地災害等情報の報告をお願いするものです。梅雨時期前にはモニターを対象に研修会を実施し、災害の危険信号や、山の危険箇所等の紹介をしています。(令和元年モニター数 1194名、令和元年実施数 5箇所)

治山現場見学会は、工事現場周辺の住民を対象に、治山事業を施工した工事現場を見ていただくものです。



▲山林保全監視モニター研修会の様子

完成した工事現場等を実際に見ていただくことで、治山事業への関心や理解を深めてもらうことを目的としています。(令和元年実施数 4箇所)

山地災害が発生する前には、山の斜面や川の流れなどに、危険信号と思われる変化が確認されることがあります。特に、次の8つの危険信号が確認された場所や災害が発生した場所は危険ですので、近づかないようにし、最寄りの市役所・町役場の担当課へご連絡ください。

また、どこに災害危険地区があるかを知っておくことは、災害に備えるためにとっても大切なことです。山地災害が発生するおそれのある箇所として、県が把握している「山地災害危険地区」の位置情報を、福井県のホームページで見ることが出来ます。  
※「福井県森づくり課ホームページ」森を守る→治山事業について→山地災害と山地災害危険地区について  
(森づくり課 森林保全グループ)

### 人の動き (令和2年4月1日付)

#### ■県産材活用課

参事 (林業企画)

室長 (ふくいの木利用室)

課長補佐

林業戦略G 総括主任 (L)

ふくいの木利用室 主任 (L) 杉山 英生

公有林G 主任 (L) 小藤 隆一

間伐・造林G 主任 (L) 五十嵐清美

間伐・造林G 主任 藤極伸太郎

公有林G 主事 河野 昂平

#### ■森づくり課

課長補佐

緑化推進G 総括主任 (L) 渡辺 裕恵

緑化推進G 主任 松枝知奈美

緑化推進G 主事 中瀬しのぶ

緑化推進G 主事 矢田部 晋

緑化推進G 主事 小林 史明

緑化推進G 主事 廣田 丈哲

#### ■流通販売課

組合指導G 主任検査員 児玉 文子

#### ■工事検査課

主任工事検査員 酒田 聡

#### ■福井農林総合事務所

所長 小林 隆幸

事業課 主事 辻野 賢太

事業課 主事 大石橋拓也

#### ■坂井農林総合事務所

所長 田中 英典

事業課長 橋向 直美

事業課長 増田 明彦

事業課長 吉田 秀治

事業課長 奥越農林総合事務所 黒田真奈美

#### 事業課長

林業・木材活用課 企画主査 春日 好一

林業・木材活用課 主査 松井 洋輔

林業・木材活用課 主事 大谷 愛美

事業課 主事 梅藤幸太郎

事業課 主事 三原 昌之

#### ■丹南農林総合事務所

所長 前田 益伸

林業部長 野阪 公哉

事業課長 上田 一史

事業課 主任 定 美智子

事業課 主任 加藤 瑞樹

林業・木材活用課 主査 荻原 芳徳

林業・木材活用課 主事 津野邊美果

#### ■嶺南振興局林業水産部

林業事業課長 廣瀬 直人

林業・木材活用課 主事 井澤 健人

#### ■総合グリーンセンター

林業試験部 森林育成・特産研究G 主任研究員 藤井 啓之

緑化・花づくり推進部 緑と花の県民運動推進G 主事 清水 香那

#### ■退職 (3月31日付)

中川 忠伸 丹南農林総合事務所 林業部長

杉本 孝司 坂井農林総合事務所 林業部長

中島 辰雄 奥越農林総合事務所 事業課長

鳥羽 浩之 丹南農林総合事務所 事業課長

新谷 光雄 嶺南振興局林業水産部 林業事業課長

(今回の異動により新たに配属された林業関係の職員のみ掲載しています。)

## 「ふくい林業カレッジ」開講



▲林業カレッジ5期生

去る4月15日、福井の林業の担い手を育成する「ふくい林業カレッジ」に令和2年度研修生が入校しました。5期生となる研修生は、高校新卒1名、インターン生1名を含む男女9名で、年齢構成は10代から40代と幅広く、志高く入校しました。今年度より短期コースが新設され5名の方が7月末までの短期コース、4名の方が来年3月中旬までの長期コースとして研修に励むこととなります。（新型コロナウイルスの影響によりゴールデンウィークまでの全座学が中止または延期）

令和元年度に受講した4期生6名は4月からそれぞれ民間の林業事業体、木製品加工会社に就職し、林業従事者としての第一歩を踏み出しました。5期生もそれに続き林業の担い手となるべく成長を遂げることを期待します。

### 「なぜ林業への就業を

### 目指すのか」

#### ■長期コース研修生

世の中の林業に対するイメージは、高齢者が多いという意識が強い。私も同じイメージを持っている。私が「WOOD JOB!」という林業の映画を観たときに林業のイメージが変わった。林業は若者でも活躍できるということを知った。私が林業カレッジの研修内容で一番興味をもったのはインターンシップである。実際に森林組合等で仕事を見学したり、体験することができるので、その会社が自分に合っているかどうかを考える良い機会だと思った。どの職種でもいえることだが、世代交代がなけ

れば何年先も続かない。若い世代の私たちが林業を受け継ぐという気持ちで林業の就業を目指したい。

#### ■短期コース研修生

これまで社会人として20年間目標をもって働いてきましたが、どこか満たされない気持ちが存在し、毎日の仕事に追いつけられ年を重ねてきました。今回離職をきっかけに本当にやりたい事は何かを見つめなおしたところ林業という選択肢があることを知りました。私が林業への就業を目指す理由は3つあります。まず1つ目の理由は木や自然が大好きでそれに関わる仕事（環境保全）に就きたいこと、2つ目は木材としての利用の可能性を感じたこと、3つ目は山林を管理する知識や技術を習得して自ら所有の山林を整備していきたいと考えたからです。

（福井県森林組合連合会）

株式会社ジツタは全国の森林組合様の業務に特化したシステムを開発し続けています



- ・スマホとGNSS受信機、レーザーコンパスと連動して簡単測量
- ・ドローンで撮った写真から造林補助申請図面の作成や山の材積推定
- ・GIS機能の付いた森林測量管理ソフトの決定版Assist7
- ・音声と画像認識を採用した木材検収アプリ

株式会社ジツタ 〒790-0964 愛媛県松山市中村二丁目8番1号  
TEL 089-931-7175 FAX 089-934-7701 URL <https://www.jitsuta.co.jp>

# RICOH

*Customer's Customer Success*  
 ~お客様のお客様にまで届く価値を創出する~

## リコージャパン株式会社

福井支社/福井市御幸3丁目7-15

【営業品目】 農林業機械・索道工事・モノレール工事施工・荷役産業土木機械・各種機械修理

## 北村商事株式会社

〒910-0854 福井市御幸4丁目7番7号  
 TEL (0776) 27-3100 FAX (0776) 22-7270



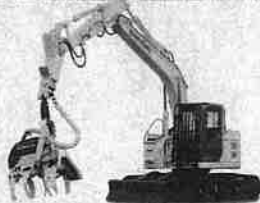
### Nakajima Kenki

- 建設機械・舗装機械・除雪機械
- 高性能林業機械
- フォークリフト
- 各種 販売・整備・レンタル

高性能林業機械の販売・整備・レンタル

### 株式会社 中島建機

〒福井市下六条町35号25番地1  
 ☎ 0776-41-0115  
 ☎ 0776-41-0775



松枯れ予防  
 樹幹注入剤

## マッケンジー ランテクター

ニホンジカ専用忌避剤  
 卵から生まれた忌避剤が樹木をニホンジカの食害から守る

## 大同商事株式会社

本社 東京都港区浜松町1丁目10番8号(野田ビル)  
 〒105-0013 電話03(5470)8491  
 FAX03(5470)8495  
 大阪営業所 大阪府吹田市豊津町36-2-101  
 〒564-0051 電話06(6384)1288

## Leasing Our Passion

私たちは金融の枠組みを超えて、  
 お客様の思い描くビジネスの将来を、  
 ともに見つけ、育み、実現することに挑戦し続けます。  
 より良い社会と未来のために。

### JA三井リース株式会社

(金沢支店) 〒920-0869 金沢市上堤町1-12 金沢南町ビルディング  
 TEL : 076-221-5121 FAX : 076-221-2346

## “森林づくりのお手伝い”

【営業品目】  
 肥料、農薬、森林除草剤、農林業資材、農業土木

## 日栄商事株式会社 福井支店

〒918-8231 福井市問屋町4丁目1104番地  
 TEL (0776) 24-1217 (代)  
 FAX (0776) 24-1202 番



### 事業内容

- ・ソフトウェア開発
- ・ソリューション
- ・クラウド・インフラ
- ・プロダクト
- ・ハードウェア
- ・アプリ開発
- ・WEB制作
- ・コミュニティマガジン発行

### 株式会社 ビジュアルソフト

【本社】  
 福井市八重巻町314番地  
 TEL.0776-56-3636(代表) FAX.0776-56-3672  
 E-MAIL : info@vss.co.jp URL : http://www.vss.co.jp

営業所  
 ・敦賀営業所  
 ・東京営業所  
 ・名古屋営業所  
 ・金沢営業所

海外旅行・国内旅行・旅行企画・JR切符・航空券・  
 バス・ホテル・旅館の手配

## SUKA TRAVEL AGENCY (有) アスカ トラベル

〒910-0016 福井市大宮4丁目10-17  
 芦原街道沿い  
 TEL (0776) 29-0012  
 FAX (0776) 29-0023

